



カメラマン

プロフォト ワタナベ
わたなべ ひさのり
渡辺 久徳 さん
しものせきししゅうしん
下関市出身

Q この職業を選んだの？

小学校を卒業した春休み、「山陽新幹線が開通すると見れなくなる電車の写真を今のうちに撮っておきたい」と衝動に駆られ、親の一眼レフカメラを手にしたことがきっかけです。その後も日本中の電車を追いかけて撮影しました。

Q 仕事をしてみたら？

カメラ店に就職していた時に、営業、チラシの写真撮影、スタジオ撮影、出張撮影を経験しました。独立後は、出張撮影の他に、テレビ局の委託を受けて動画の撮影をするなど、仕事の幅

が拡がりました。

出張撮影では、市内の保育園や幼稚園での運動会などの撮影、結婚式の撮影、市の観光写真の撮影などを行っています。

Q どんなときにやりがいを感ずるの？

保育園や幼稚園での撮影が特に楽しいです。子どもたちから元気をもらっています。子どもたちと遊ぶながら撮影します。信頼関係を築き、子どもたちが目を光らせて写ってくれた時、大きな喜びがあります。入園から卒園までの成長を感じることが出来る点も楽しみです。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。



①「下関に恩返しを」という気持ちで撮影しています。②カメラのメンテナンス中。③渡辺さんが収集・撮影した鉄道資料や写真などが並ぶ企画展にて。

★ **カメラマンを
目指す君へメッセージ**

ぜひ、一眼レフカメラを使って、その面白さを感じてほしいです。一眼レフカメラや三脚は重く、持ち運びが大変ですが、苦勞して撮影した分、喜びも倍増します。苦勞と努力を惜しまないことが大切だと思います。また、撮影後は写真を紙で残し、次世代に引き継いでほしいです。

★ **番外編
鉄道愛好家としての顔**

JR山陽線厚狭～下関駅間の開業から今年の5月で120周年を迎えたことを記念し、同月、子どもから大人まで楽しめる企画展をふくふくこども館で開催しました。企画展を開催することにより、地元下関に恩返しをしていきたいです。

取材協力
プロフォト ワタナベ
090-8713-5362